

『 クラブ協議会（新旧） 』

司会進行 萩原昭博幹事

《 中 嶋 嘉 昭 会 長 》

例会に引き続き、クラブ協議会に出席を頂き、ありがとう御座います。

今年度もあと1カ月余を残す時期となりました。事業の展開推進そして進捗状況で、やり切った事業、やり切れていない事業、これから展開する事業等があると思います、夫々の委員会の思いを込めて、ご報告を宜しく願いいたします。また、事業継続がありましたならば、次年度への引継ぎを宜しく願ひ申し上げます。では、私の方から会長方針に基づいて報告いたします。

今年度ジョン・ケニーR I会長のテーマは「ロータリーの未来は、あなたの手の中に」と掲げられ、山本信男ガバナーは地区テーマとして「原点回帰」として、行動目標を示されました。クラブとして、それらのメッセージを踏まえて事業推進をして参りました。以下は、クラブ重点目標に沿って進めて参ります。

- 1 . 会員維持、増強純増1名について
71名でスタート、入会1名、退会6名で、現在会員数66名
- 2 . 出席意欲の湧く例会づくりについて
独創的な、サプライズなプログラムはなかなか出来ませんでした。例會出席率での判断ですが、上期は心配が出るほど低率であったと思いますが、下期は徐々に上向き安心の範囲だったと思います。
- 3 . 委員会活動の活性化について
担当した事業・例會での活動には大変満足しておりますが、全員参画とは、たまたま今年度一緒になった委員会として集まって頂き、委員会事業の計画立案を話し合っただけという思いでした。
- 4 . I Dスポーツ大会について（釧路北ロータリークラブ・足立顕彰記念障がい者スポーツ基金より
拠出）11月28日（土）サン・アビリティーズにて、第1回大会を主催し、移動例會を合わせて開催いたしました。
- 5 . R I、地区、分区への協力について
ポリオ募金、簡易水浄化装置設置、大会、協議会、研修会、ライラ、米山奨学生世話子クラブ、I Mなどへの参加
- 6 . 経費削減について
何事も自分たちでやってみようという、手作りで経費削減効果を求めたために、多くの会員関係者の皆様にいつも以上のご苦勞をかけたものと思います。要望の100%を応えることが出来ずに、担当委員会には力を十分に発揮できなかった事業も有った事と思いますが、友情でカバーをして頂き、心から感謝とお礼を申し上げます。

《 萩原昭博幹事 会務方針報告 》

今年度会務方針に基づきましてご報告いたします。特別会計の予算の中で坂本新世代育成基金の報奨金として3団体各10万円ずつ拠出しました。

村井会長年度改定され、現在足立顕彰記念障がい者スポーツ基金とされ20万円を拠出した訳ですが、会員の皆様にも参加をして頂き、第1回IDスポーツ大会を開催いたしました。運営資金が窮屈でしたので、次年度第2回を開催するので引継ぎを致します。予算を組んだ中で予定していないお金の支出がありました。突然台湾宜蘭RCの訪問を受け12万円余の出費をいたしました。また勉強不足ということもあり、今年度は活動報告書を15万円しか計上しておりませんが、前年度の報告書の経費を今年度が負担するとの事で、27万円ほど予算を上回っております。

《 クラブ管理運営部門 森山義文 担当理事 》

部門のプログラム委員会と親睦家族委員会は、両委員長と委員の活動で問題ありません。出席・資料管理委員会は委員長の病気退会や担当委員の転勤で苦慮し、中井前委員長、境社会奉仕委員長の力を借りながらフォローしましたが、毎週の事です所以大家が居なければ記録は残っていきません、次年度以降も続きますので、委員会メンバーの選任には配慮するように、今年度やってみて、つくづく感じました。

《 親睦家族委員会 小林裕幸副委員長 》

高橋貢委員長は今日出張のため、文章を預かっておりますので代読します。

会長スローガン「グローバルに考え、ローカルに実践しよう」をもとに、委員会活動をして参りました。会長幹事、北川会場監督、委員会メンバーには一方ならぬご協力を頂いた事に感謝を申し上げます。例会や事業におきましては、計画にのっとり行って参りました。担当例会の出発式、上期新入会員歓迎会、クリスマス家族忘年会、巖島神社神事、新年交礼会、雛祭り例会と終わり、後残すところ下期新入会員歓迎会と家族野遊会、キャンドルナイトであります。反省課題は委員の仕事の都合上、少々集まりが悪かった事。ニコニコ献金は目標の金額には達成しておりませんが、今後の例会で皆様のご協力を仰ぎ達成したいと考えております。

最後に会長の意思でありました負担軽減のための経費節減は、会員に新たなる意識改革とこれからの会の運営に寄与する素晴らしいものであります。委員会としては少々予算不足で苦労しましたが、工夫次第では楽しい事業が出来ることを実感し感謝しております。しかし、まだ行事が残っておりますので予算の都合が付けば配慮をお願いします。

プログラム委員会 徳山淳一委員長

今年度会長から与えられたテーマは、待ち遠しく楽しくなる様な例会づくり。

出席意欲の湧くような例会をつくり、出席率向上を目指すという事です。

企画計画では、出来るだけ多くのメンバーの方に登壇してもらう、例会の場で広く情報を伝えていくという事を考えておりました。反省として、プログラムの多くは萩原幹事に任せたとこがあり、委員会の気持ちを伝えきることが出来ませんでした。ロータリー月間を通し、あるいは四つのテスト唱和などあらゆる機会を活用できたなら良かったと思います。

《 出席・資料管理委員会 中井寛 新委員長 》

西川委員長は健康に気をつける男であったのですが、健康を損ね退会に至りました。急遽交代してやらせてもらっております。委員会の中味の出席率の向上、メーカーの問題は、順調に過ぎてきたと思います。

会員数の減少が気になるところでありまして、何とか70名を超えるクラブでありたいと願います。家庭集会での成果を期待いたします。

また資料管理は、色々先輩の意見を聞きながらまとめて行く物で、森山理事のリードでまとまるどころまで来ております。

《 会員増強・会員維持部門 能登信孝担当理事 》

委員会の一つなのですが、その会員維持増強委員会の新妻委員長が出張中ですので、私がまとめて報告いたします。ガバナーの月信を見ますと、当クラブはマイナス5でワーストワンであります。純増1名の目標には程遠いのですが、まだ40日ありますので、皆様をお願いを致しまして、早く入れたいと考えております。8月の例会で職業分類、充填未充填、役員のリストなどを用いて行いました。皆様には今後の家庭集会で、名前を挙げて頂ければ私共がアタックに行きたいと考えております。

《 奉仕プロジェクト部門 小野寺英夫担当理事 》

今年度は会長の示された方針に基づき、奉仕の原点を探しながら地に足が着いた活動を目指す事でスタートいたしました。担当する3委員会の夫々の委員長の活躍により、計画通り進み、例会担当も社会奉仕委員会3回、職業奉仕委員会3回、国際奉仕委員会協力を含め2回無事終了しております。皆様のご協力に感謝を申し上げます。ありがとう御座いました。

《 社会奉仕委員会（人間尊重・地域発展・環境保全） 境弘伸委員長 》

会長、担当理事のご協力が無事計画を達成いたしました。12月日銀支店長講話、2月環境保全の講習会、5月ものづくり、街づくり、人づくりの研修会を実施され、計画が無事達成されました。

《 職業奉仕委員会（就職指導） 佐渡正幸委員長 》

10月の職業月間にあわせた中で、継続事業の就職指導講演会を釧路商業高校にて開催をさせていただきました。年度の始まる前に担当の阿部先生と、会長幹事と共に打ち合わせをさせて頂き、その後は私一人で先生と打ち合わせを致しました。講師について学校の希望は、若い経営者か、あるいは商業高校の卒業生などの身近な方をお願い出来ればとの話でありました。その中で生徒の就職に対する意識を開拓させて行きたいという事で、私の知り合いで大野さんという釧路で居酒屋2~3店舗を営まれている32歳の経営者をお願いし、講演会をさせていただきました。生徒さんからの声は直接聞いておりませんが、阿部先生からは良かったという言葉頂きました。次年度もその様な要望があると思いますが、担当の方は是非要望に沿った形で進めていって欲しいと考えます。

また職場訪問については、理事会の皆様にご推薦をして頂き、10月、4月に開催をしております。

《 国際奉仕委員会（GSE・WCS・国際青少年交換） 齋藤憲一委員長 》

小野寺理事代読 国際奉仕事業の重要性を確認又は認識するためにも、2月担当例会では、足立パストガバナーをお願いを致しまして、パワーポイントを使い国際奉仕と財団プログラムとの違い、GSEは国際奉仕には当たらないという事などロータリーの歴史を紐解きながら詳しく説明して頂きました。青少年交換につきましては、現在明輝高校に在学しておりますが、今年祖父が亡くなられたという事で帰る話になりまして、送別会をやりましたが、釧路クラブの説得もあり思い留まったという経緯もあります。青少年交換の主だった協力要請は来ておりません、次年度に付きましても未定であります。

《 新世代・財団・米山部門 坂入信行担当理事 》

新世代委員会、財団委員会の二つの委員会からなる部門で、坂本新世代育成基金の支援先選定を社会奉仕委員会とタッグを組んで進めました。この基金と足立顕彰記念障がい者スポーツ基金の管理担当を理事がするとの事でした。次年度理事においては、この辺を踏まえて進めて頂きたいと思います。田中・川尻両委員長には、担当例会を終わらせて頂き感謝を申し上げます。新世代委員会はあと2回の例会協力が残っておりますし、約半年間で5回の例会担当や協力をして頂き、本当に忙しい思いされた事にお礼と感謝を申し上げます。

《 新世代委員会（ローターアクト、インターアクト、坂本新世代育成基金）田中和紀委員長 》

3月24日の例会で、坂本新世代育成基金支援贈呈式を執り行いました。支援先は、釧路地区自閉症発達障害支援センターをつくる会、ゆったり子育て講座実行委員会、釧路市児童館地域活動連絡協議会の3団体に、単年度ですが各10万円の支援をしております。次にローターアクトの関係ですが、例会には理事役員ともども4回ほど訪問しております。次に昨年8月、2名の青年を引率して第30回ライラセミナーに参加をしております。2月17日にローターアクトとのミーティングを開催しておりますなかで、現在会員数が10名、うち企業会員が2名です。次年度に於きましては、転勤者、卒業者が3名予定で7名になるという報告を受けました。会員の減少に歯止めが効かない、また次々年度はローターアクトの40周年事業、2500地区の大会が予定されているという事で、会員数がこのまま推移すると周年事業、地区大会の開催が危ぶまれる、また北ローターアクトの存在が怪しくなってくるという相談を受けました。最大の課題は会員減少であり、この問題はかなり深刻であると受け止めております。次年度にお願いすることは、この様な状況を踏まえ、一にも二にも会員の増員であります。これが叶えばローターアクトの活性化につながるものと考えております。北クラブの会員の皆様には、企業会員増員のご協力をお願いいたします。

《 財団委員会（ポリオ・米山・恒久基金）川尻道子委員長 》

欠席にて坂入理事代読、米山月間の10月は、昨年8月まで奨学会理事を務めておりました北川会員と、釧路短期大学在学中の奨学生コウ・エーケンさんからお話を伺いました。財団月間11月は足立功一PDG、小船井修一PDGからお話を伺いました。残念ながら、財団及び奨学会への寄付は低調でした。これは経済状況だけでなく、委員長を仰せつかった私が、上期殆どロータリアンとしての義務を果たせない状況だった為で、責任を感じています。米山奨学生は、釧路クラブが親クラブ、北クラブが子クラブとしてサポートしてきた訳であります。そして現在から次年度にかけて北クラブが親クラブとなり、ベイクラブが子クラブとしてサポートして参ります。

《 アカデミー部門 小松亮次担当理事 》

今年度アカデミー委員会が独立部門となり、ロータリー情報、研修、広報委員会の3つの委員会であります。会長方針を具現化させる為に、各委員会委員長はじめ委員の皆様には大変お世話になりました。その中の家庭集会を年4回計画させて戴き、現在4回目を実施いたしております。今回はテーマに集中して頂くために、班の人数を若干減らし班数を増やして行っております。ご協力を宜しくお願いいたします。

《 ロータリー情報委員会（雑誌） 石塚茂樹委員長 》

今年度は私自身あまり出席できずに大いに反省しております。会長の重点目標に向け、ロータリー情報を提供しようと始めましたが、100%の達成感はありませんが、高橋邦弘副委員長、諸先輩皆様の協力で、ロータリーワンポイント情報として、のべ18名の方をお願いして貴重な情報のお話を頂きました。残り少なくなったのですが、続けて参りたいと思っております。

《 ロータリー研修委員会 田村憲一郎委員長 》

ロータリアンとして成長する為のもとなる委員会であり、4点の実施項目を掲げて推進いたしました。家庭集会の年4回の実施。1月のフォーラムは小松理事の卓話をいただきました。2月4日朝粥塾は松原パスト会長を塾頭として、24名の参加者がありました。千田副委員長には素晴らしいカバーを頂き実施しました。新入会員オリエンテーションを予定しております。

《 広報委員会（会報・IT） 泰地浩幸委員長 》

写真撮影に関して多くの皆様のご協力を頂き、改めて感謝とお礼を申し上げます。今年度の会報は、週報、月報のペーパーによる配布を取りやめまして、週報をホームページに記載する事に挑戦いたしました。これによって会員の皆様、地域の皆様に公にお見せする事が出来、第一歩を踏み出せた気持ちがあります。週報綴りとして1年分をCDに落としまして、皆様にお渡しいたします。計画には無かったのですが、会員名簿の企業のところの青色があるところにリンクすると企業のホームページに入っていきます。現在6社、随時進めて参ります。インターネットが閲覧できない会員の方への対応を見落としていた部分がだったので、担当例会の検証を通しながらの反省するところでもあります。次年度の委員会では其の事の配慮を宜しくお願い致します。

《 会計 石井東洋彦理事 》

皆様には会費の早期納入ありがとうございます御座いました。今年度、懇親会を伴う夜間例会では別途会費を頂いた訳ではありますが、快く納めていただき、お蔭様で支払いが滞ることも無く、また、各委員長さんのご努力でどこにも迷惑をかける事無く、決算が出来るものと思います。計画書を手作りにという事で、一から作り直すなどのご苦労や節約に労いを申し上げます。

《 会場監督 北川健二SAA 》

会場監督として感じたことを一言申し上げます。例会が始まる前から終わるまで、こんなに気を使うとは思いませんでした。大変な思いをした歴代の会場監督に敬意を表したいと思います。今期の例会は幹事、副幹事のおかげでスムーズに進んでおります。

《 無任所理事役員 布目九一副会長 》

私のほうは、各委員長さんに活躍をしていただき会を盛り上げて行こうと言う事で、各委員長さんの話を聞いていると、会員増強の話が多く出てきます。私を含め一人でも入会を勧めたいと考えておりません。皆様にもお願いいたします。

《 村井順一直前会長 》

昨年はクラブ50周年の節目の年であり、今年度は新たな第一歩を踏み出し、新しい事に挑戦した年だと思います。私も側面から十分な援助は出来ませんでした。会長、幹事には持ち前の味を十分に生かされて、素晴らしいクラブ運営をされたと思います。一年間ご苦勞様で御座いました。

質疑応答はありませんでした。

《 総評 足立功ーパストガバナー 》

今年度の特筆すべき事は、地域に根ざしていた活動が非常に充実していたことでもあります。クラブのなかでは、まず会費の削減を打ち出して、受益者負担という事で飲み食いに於いて会費負担はあったのですが、この時代高い会費を納めて頂くのは難しいと思います。今思い出しますが、私と小野寺幹事の年度に20万円を切ったのですが、翌年元に戻ってしまい、坂本パストガバナーに怒られたことがあります。ロータリーは継続性が大事だから下げたものを次の年上げたら、全く意味が無いだろういう事でした。三原エレクトにはそのまま進めて欲しいと思います。各クラブを見ますと一番お金を掛けているのは、活動計画書と活動報告書、それに会報、月報です。バイククラブのように押えて手作りでやっている処もありますし、FDBファイルに取り込んでコンピューターに入れ、ザ翻訳ソフトを使えば、文字列に換わって編集できる様になっております。そういうものを使って自分たちでやっているクラブはありますので、少し試してみても如何でしょうか。社会奉仕、青少年部門は問題ないと思います。また、米山に関しては、山本ガバナーの地区では34地区の一番ピリですが、これは会員が減っている事が原因であります。うちのクラブは上位ですから問題はありません。今回坂入理事がカウンセラーになって米山奨学生をひとり引き受けている事から、米山に対する貢献は高いという事です。ローカルには良い活動をしているが、グローバルに考えますと、ガバナーとしてはまず会員増強、拡大、財団寄付であると考えます。会員増強に関して今年のRI会長は純増1名、維持を謳っているので、増やさなくても元に戻す様に、頑張ってくださいと思います。財団寄付はひとり100ドルが最低目標ですが、この地区ではゼロクラブが4つあります。100ドル達成は20数クラブですが、北クラブは例年達成している優良クラブであります。今年もひとり100ドルを頑張ってください。深川先生の勉強会という素晴らしい事を、継続してやって頂きたい。宜蘭RCに来て頂いたので、次年度はこちらから行く企画を立てていただいて、友好クラブとして大きな会の時に訪問し合ったら良いのではないかと。それから規定審議会の改定で、直前会長が理事に入ると書いていたと思いますが、確認して下さい。今週末釧路西クラブ創立40周年があります。大変素晴らしいクラブであります。スポンサークラブであります北クラブも素晴らしいクラブと思いますので、これからは例会を大事にしながら、ロータリー理論を積み重ねて、より一層勉強して行って欲しい、今年度も残り少ないですが、気を抜く事無く是非頑張って下さい。